

週間漁海況情報—第28号

平成24年7月17日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究所

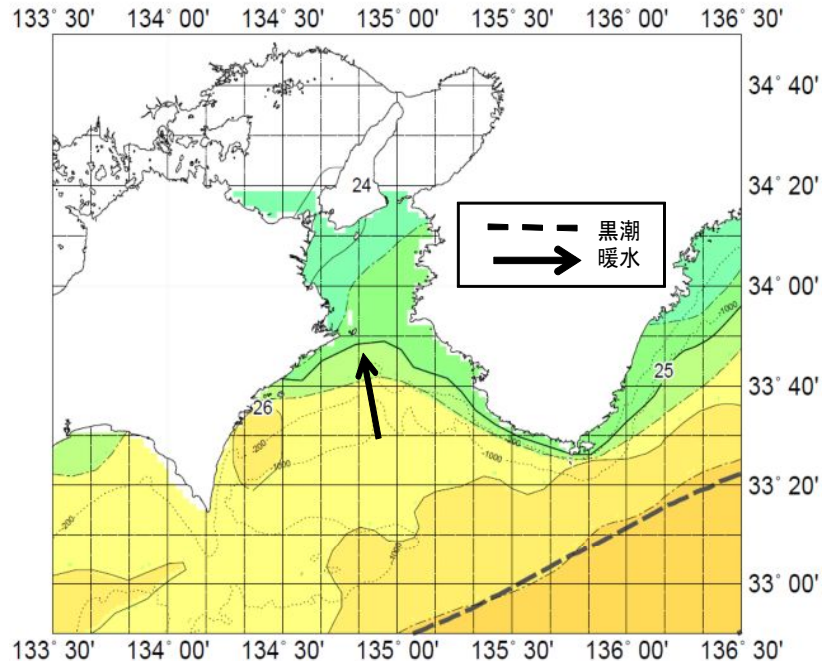
1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、133°30' 134°00' 134°30' 135°00' 135°30' 136°00' 136°30' 静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H24.7.17）を示した。

黒潮は、室戸岬沖でやや離岸、潮岬沖で接岸している。

黒潮本流の表面水温は、27～28℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で23℃台、紀伊水道で23～25℃台、海部沿岸で25～26℃台である。

紀伊水道外域では、室戸岬と潮岬を結ぶ中央付近から緩やかな暖水流入が見られる。紀伊水道外域から紀伊水道内の和歌山県側では、25～26℃台の暖水に広く覆われている。



紀伊水道海区観測結果

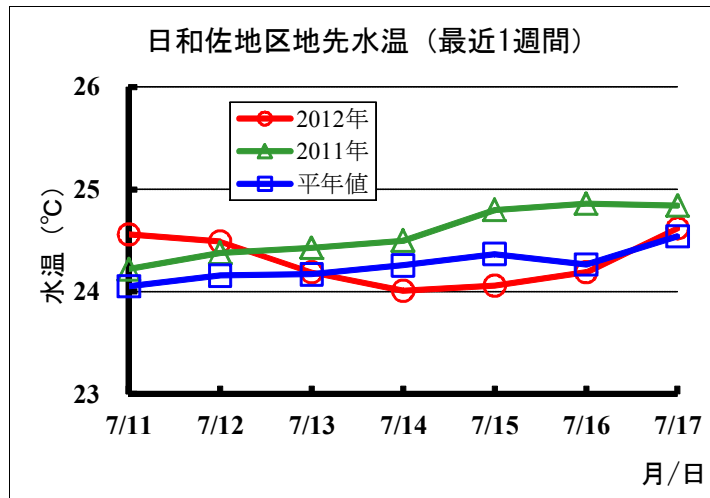
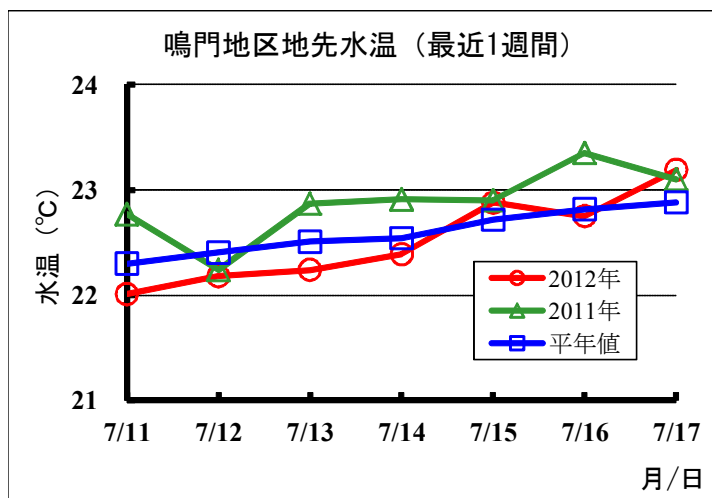
観測日		水 温					塩 分				
		表層	10m	20m	30m	50m	表層	10m	20m	30m	50m
7/9, 10,13	今年値	24.0	23.2	23.3	23.6	21.7	31.2	32.3	32.7	33.2	33.9
	平年偏差	1.0	1.2	1.7	2.4	2.0	-0.5	-0.4	-0.5	-0.4	-0.3
	前年偏差	0.3	0.8	1.6	2.2	2.5	-0.5	0.0	-0.4	-0.4	-0.6

漁業調査船「とくしま」で7月9、10及び13日に行った紀伊水道海区の海洋観測では、表層及び10mが「やや高め」の23.2～24.0℃、20m～50m層が「高め」の21.7～23.6℃であった。

* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

地先水温 最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「平年並み」の22.0～23.2℃、日和佐地区は「平年並み」～「やや高め」の24.0～24.6℃、牟岐地区は「やや低め」～「高め」の23.2～25.3℃で推移した。



2. 漁況の経過

大型定置網：海部沿岸で、ツバスが0.2トン（同125kg）、マルソウダが0.2トン（同119kg）水揚げされた。なお、今漁期は7月10日に終了した。

釣り：海部沿岸で、中・大主体にアカムツが0.5トン（同21kg）、紀伊水道で、特大主体にタチウオが0.5トン（同15kg）水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道で、シラスが31.0トン（同333kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 7月9日～15日

県下5漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
大型定置網		ツバス	2	249	125	
		マルソウダ	2	238	119	
釣り	紀伊水道	アカムツ	22	456	21	中・大主体
		タチウオ	30	460	15	特大主体
パッチ網		シラス	93	31,000	333	

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年7月11日～17日においては、16日頃から台風6号の影響を受けたため、出漁回数が少なかった。海部沿岸では、延縄で、中主体にカサゴが0.1トン、大主体にキダイが0.1トン、大主体にマダイが0.2トン、小型定置網で、マメ主体にマアジが0.2トン、釣りで、大主体にゴマサバが0.4トン水揚げされた。

週間予報：黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」～「接岸」、潮岬沖で「接岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「平年並み」の23℃台、日和佐地先で「平年並み」～「やや高め」の24～25℃台で推移する見込み。